



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナカヨ通信機

コード番号 6715 URL <http://www.nvc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷本 佳己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括本部長

(氏名) 加藤 英明

TEL 027-253-1006

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,590	3.8	323	△25.4	376	△20.9	262	△16.3
25年3月期第2四半期	8,273	8.0	433	△23.7	476	△19.6	312	△45.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 197百万円 (△37.2%) 25年3月期第2四半期 315百万円 (△41.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	11.90	—
25年3月期第2四半期	14.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,976	73.2	15,370	73.2		
25年3月期	21,109	72.6	15,350	72.6		

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,350百万円 25年3月期 15,330百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,300	9.2	1,150	7.5	1,200	3.7	850	4.6	38.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	23,974,816 株	25年3月期	23,974,816 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,958,375 株	25年3月期	1,954,813 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	22,018,648 株	25年3月期2Q	22,023,261 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

<b>1. 当四半期決算に関する定性的情報</b> .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
<b>2. サマリー情報（注記事項）に関する事項</b> .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
<b>3. 四半期連結財務諸表</b> .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果とオリンピック招致による期待感などから円安株高が進行し、大企業を中心とした業績の改善傾向が見られます。また、TPPへの参加に、貿易拡大への期待感がある一方で、消費税増税、円安に伴う輸入価格や電力料金の値上げが、景気停滞を招く恐れもあります。海外の状況につきましては、雇用環境の改善と株価の上昇を背景として、個人消費が堅調に推移してきた米国経済は、金融緩和の縮小時期や財政問題に懸念が残り、中国をはじめとする新興国では、足元の成長率に陰りが見られ、債務問題が長期化している欧州さらには緊張が続く中東情勢もあり、景気の先行に不透明感が残っております。

当情報通信業界におきましては、技術革新が目覚ましく、サービスの多様化、高度化も進み、厳しい経済環境の中でも成長が期待されています。スマートフォンやタブレットの急激な普及、クラウドサービスの拡大、さらには音声からデータ、映像へという通信の主軸の転換などが見られます。また、ICTを利用した新たなビジネスモデルも創出され、機器、センサー等を対象としたM2M (Machine to Machine) やビッグデータの市場拡大が進み、O2O (Online to Offline) など新たなサービス分野が展開され期待を集めております。

このような状況下で、当社グループは、4月からスタートした「第二次中期経営計画」において「事業規模の拡大」と「経営体質の強化」に取り組んでまいりました。

「事業規模の拡大」につきましては、お客様のニーズを反映した高付加価値製品の開発、販売及び新規マーケットの開拓を目指し、アンドロイド搭載タブレット (GRANYC) を核としたアプリケーション開発や、システムインテグレーション事業を推進するとともに、工場のリソースを活かしたEMS事業を展開しております。新製品として今年の春に発売を開始した主力製品であるビジネスホン (NYC-iFシリーズ) では、容量の拡大、防水仕様のDECT方式コードレスの採用、スマートフォンとの連携強化を図りました。

「経営体質の強化」につきましては、継続的な原価低減と間接コストの削減、業務プロセスの改善による業務の合理化・スリム化を図り、経営体質を強化してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高8,590百万円 (前年同期比3.8%増)、営業利益323百万円 (前年同期比25.4%減)、経常利益376百万円 (前年同期比20.9%減)、四半期純利益262百万円 (前年同期比16.3%減) となりました。

今後も予算達成に向けて、既存の製品群を始め、非電話機系機器・非ICT系機器等の新商品開拓やサービス事業の展開など新規事業の開拓を進めるとともに、生産性の向上並びに更なるトータルコストダウンを進め、将来を見据えた経営活動を推し進めてまいります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ132百万円減少し、20,976百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ484百万円減少し、14,118百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加325百万円、原材料及び貯蔵品の増加228百万円があったものの、現金及び預金の減少791百万円、受取手形及び売掛金の減少235百万円があったこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ351百万円増加し、6,858百万円となりました。これは主に、投資有価証券の減少137百万円があったものの、有形固定資産の増加298百万円、無形固定資産の増加183百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ152百万円減少し、5,606百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ146百万円減少し、4,610百万円となりました。これは主に、未払金の増加193百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少189百万円、未払法人税等の減少123百万円があったこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、995百万円となりました。これは主に、預り保証金の増加15百万円、繰延税金負債の増加10百万円があったものの、リース債務の減少30百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、15,370百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少64百万円があったものの、利益剰余金の増加85百万円があったこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ797百万円減少し、6,454百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ739百万円減少し、92百万円(前年同期比88.9%減)となりました。これは主に、たな卸資産の増加額500百万円、仕入債務の減少額189百万円、法人税等の支払額239百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益401百万円、減価償却費239百万円、売上債権の減少額235百万円、ソフトウェア償却費183百万円があったこと等によるものであります。

前年同期と比べ減少した主な理由は、部材の一部先行調達及び下期納品予定製品の先行生産による、たな卸資産の増加額が前年同期に比べ285百万円増加した事、前期末日が金融機関の休日に伴い当期決済になった影響が4億円程度あったことにより、仕入債務の増減額が前年同期に比べ432百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ30百万円増加し、682百万円(前年同期比4.7%増)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入95百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出338百万円、ソフトウェアの取得による支出314百万円、敷金の差入による支出125百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ33百万円減少し、207百万円(前年同期比13.8%減)となりました。これは主に配当金の支払額174百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高及び利益については、平成25年5月10日発表の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,901	5,110
受取手形及び売掛金	5,429	5,194
有価証券	1,419	1,419
商品及び製品	406	731
仕掛品	459	406
原材料及び貯蔵品	689	917
その他	302	344
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	14,602	14,118
固定資産		
有形固定資産	2,321	2,620
無形固定資産	851	1,034
投資その他の資産		
投資有価証券	2,058	1,920
その他	1,276	1,302
貸倒引当金	△0	△20
投資その他の資産合計	3,334	3,203
固定資産合計	6,507	6,858
資産合計	21,109	20,976
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,868	2,679
短期借入金	40	40
未払法人税等	257	134
製品保証引当金	122	126
賞与引当金	283	285
その他	1,184	1,345
流動負債合計	4,756	4,610
固定負債		
退職給付引当金	53	52
その他	948	943
固定負債合計	1,002	995
負債合計	5,759	5,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,909	4,909
資本剰余金	4,514	4,514
利益剰余金	5,780	5,866
自己株式	△409	△410
株主資本合計	14,794	14,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	536	471
その他の包括利益累計額合計	536	471
少数株主持分	20	19
純資産合計	15,350	15,370
負債純資産合計	21,109	20,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,273	8,590
売上原価	6,462	6,736
売上総利益	1,811	1,853
販売費及び一般管理費	1,378	1,529
営業利益	433	323
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	18	20
負ののれん償却額	11	—
受取保険金	—	29
その他	15	9
営業外収益合計	48	62
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	0	2
固定資産廃棄損	1	3
その他	1	1
営業外費用合計	4	9
経常利益	476	376
特別利益		
投資有価証券売却益	1	70
特別利益合計	1	70
特別損失		
減損損失	16	—
投資有価証券評価損	12	—
事務所移転費用	—	43
その他	—	2
特別損失合計	28	45
税金等調整前四半期純利益	449	401
法人税、住民税及び事業税	144	128
法人税等調整額	△9	10
法人税等合計	135	138
少数株主損益調整前四半期純利益	314	263
少数株主利益	1	1
四半期純利益	312	262



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	314	263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△65
その他の包括利益合計	1	△65
四半期包括利益	315	197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314	197
少数株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	449	401
減価償却費	161	239
ソフトウェア償却費	173	183
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	20
賞与引当金の増減額(△は減少)	15	1
製品保証引当金の増減額(△は減少)	5	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9	△1
受取利息及び受取配当金	△20	△22
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△70
投資有価証券評価損益(△は益)	12	—
移転費用	—	43
減損損失	16	—
売上債権の増減額(△は増加)	282	235
たな卸資産の増減額(△は増加)	△215	△500
仕入債務の増減額(△は減少)	243	△189
その他	△23	△32
小計	1,085	310
利息及び配当金の受取額	20	22
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△272	△239
法人税等の還付額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	832	92
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△63	△57
定期預金の払戻による収入	63	57
有形固定資産の取得による支出	△366	△338
ソフトウェアの取得による支出	△289	△314
投資有価証券の売却による収入	3	95
敷金の差入による支出	△0	△125
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652	△682
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△218	△174
その他	△21	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240	△207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60	△797
現金及び現金同等物の期首残高	6,872	7,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,812	6,454

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

**【セグメント情報】**

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは通信機器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。